

平成30年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名
 コード番号 3808 URL <https://www.okwave.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)兼元 謙任
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(5793)1195
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	557	△3.1	33	—	24	—	18	—
29年6月期第1四半期	575	△1.3	△3	—	△6	—	△8	—

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 17百万円(—%) 29年6月期第1四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	2 09	2 08
29年6月期第1四半期	△0 93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第1四半期	1,854	1,508	80.8
29年6月期	1,850	1,491	80.0

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 1,497百万円 29年6月期 1,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00
30年6月期	—				
30年6月期(予想)		0 00	—	0 00	0 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日~平成30年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,137	△2.1	52	237.9	45	5.0	26	△30.6	2 98
通期	2,590	7.4	170	1.3	150	△18.0	120	△3.0	13 74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年6月期1Q	8,732,200株	29年6月期	8,732,200株
30年6月期1Q	60株	29年6月期	60株
30年6月期1Q	8,732,140株	29年6月期1Q	8,729,430株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①全般的概況

当第1四半期連結累計期間(平成29年7月1日～平成29年9月30日)においては、エンタープライズソリューション事業の売上高は好調に推移していますが、ナレッジインテリジェンス事業では一部サービスに外的環境の変化があったこと、多言語CRM事業では堅調に推移しているものの前期に一時的な受託案件があったことから、連結の売上高は557,687千円(前年同期比3.1%減)と前期比微減となりました。

利益面においては、原価構造の見直しや業務効率の改善、外注費や広告宣伝費等の適正な運用により、営業利益は33,902千円(前年同期3,147千円の損失)、経常利益は24,989千円(前年同期6,627千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、18,288千円(前年同期8,104千円の損失)となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	557,687	△17,684	△3.1
営業利益	33,902	+37,050	—
経常利益	24,989	+31,617	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18,288	+26,393	—

※当社グループは、当第1四半期連結累計期間より、企業戦略を明確化することを目的として、従来「ソーシャルメディア事業」と表示していたセグメントの名称を「ナレッジインテリジェンス事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

②事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

・ナレッジインテリジェンス事業の概況

ナレッジインテリジェンス事業では、Q&Aサイト「OKWAVE」のプラットフォームを活用したサービスを提供しています。

当期の売上高におきましては、顧客参加型サポートコミュニティツール「OKBIZ. for Community Support」をはじめ企業向けの売上は堅調に推移しています。しかしながら一部サービスの外的環境変化の影響により、前年比では減収減益となりました。

今後の収益拡大に向けて、AI「KONAN」ならびに「AI Knowledge」テクノロジーを用いたロボホン専用アプリ「OKWAVE」の提供、米国子会社OKWAVE INC.にて開発したAI「オウケイウェイヴ・アンサー・テクノロジー」の「OKWAVE」への導入など、当社開発技術のサービスへの実装を進めています。また「OKWAVE」では利便性向上を目的に大規模なカテゴリ改編を実施、これにより回答投稿数が上昇傾向にあります。

なお、OKWAVE INC.では「OKWAVE food Answers」アプリの配信は終了し、AI技術を当社に移管。デジタルグリーンディングカードサービスへ経営資源を集中させ、コンテンツ拡大、検索順位向上を実現しています。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	65,536	△29,405	△31.0
セグメント損失(△)	△57,062	△35,053	—

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業のビジネスモデルは、「OKBIZ.」導入に際する初期構築費と月額利用料ならびに利用量に応じた従量課金にて構成しております。

各業界の大手企業などへの新規受注により、四半期ごとの比較では過去最高の新規導入サイト数となり、現在稼働中の導入サイトは400サイト以上となり、前年同期比114.3%の売上成長を遂げています。

利益におきましても前年同期比127.2%と、大幅な増益を達成しています。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	340,643	42,526	+14.3
セグメント利益	190,344	40,689	+27.2

・多言語CRM事業の概況

多言語CRM事業におきましては、訪日外国人客の増加や東京五輪開催決定を追い風に、地方自治体や医療分野、鉄道などの案件が増加しております。これにより多言語コンタクトサービスの基幹事業である電話通訳案件が堅調に伸びております。前年同期は一時的な受託案件があったため前年同期比では売上は減少したものの、費用の見直しを継続的に実施していることから利益は引き続き伸長しました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	151,507	△30,805	△16.9
セグメント利益	35,338	5,185	+17.2

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(ア)資産

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、「受取手形及び売掛金」、「ソフトウェア」が減少したものの、主に「現金及び預金」、「商品及び製品」、「前払費用」、「ソフトウェア仮勘定」の増加により1,854,104千円（前連結会計年度末比3,137千円増加）となりました。

(イ)負債

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は、主に「未払法人税等」の減少により345,273千円（前連結会計年度末比14,119千円減少）となりました。

(ウ)純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に「利益剰余金」の増加により1,508,830千円（前連結会計年度末比17,256千円増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の第2四半期連結業績予想については、平成29年8月9日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細は、本日公表の「第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	799,481	870,400
受取手形及び売掛金	372,742	253,770
商品及び製品	—	10,000
仕掛品	150	32
その他	108,863	82,348
貸倒引当金	△873	△751
流動資産合計	1,280,363	1,215,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,870	77,070
減価償却累計額	△61,320	△62,024
建物及び構築物(純額)	13,549	15,045
工具、器具及び備品	388,592	403,948
減価償却累計額	△322,126	△329,724
工具、器具及び備品(純額)	66,466	74,223
有形固定資産合計	80,015	89,268
無形固定資産		
ソフトウェア	69,880	56,408
ソフトウェア仮勘定	3,400	41,899
その他	15,514	15,643
無形固定資産合計	88,795	113,952
投資その他の資産		
投資有価証券	235,421	267,190
その他	224,759	236,319
貸倒引当金	△58,388	△68,427
投資その他の資産合計	401,792	435,082
固定資産合計	570,603	638,303
資産合計	1,850,967	1,854,104
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,157	38,565
未払金及び未払費用	176,101	169,036
未払法人税等	24,961	10,459
1年内返済予定の長期借入金	7,200	7,200
その他	61,677	72,510
流動負債合計	310,097	297,771
固定負債		
長期借入金	16,400	14,600
資産除去債務	32,894	32,902
固定負債合計	49,294	47,502
負債合計	359,392	345,273

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	984,017	984,017
資本剰余金	953,817	953,817
利益剰余金	△438,600	△420,311
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,499,198	1,517,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	156
為替換算調整勘定	△19,239	△19,941
その他の包括利益累計額合計	△19,239	△19,785
新株予約権	10,837	10,751
非支配株主持分	778	377
純資産合計	1,491,574	1,508,830
負債純資産合計	1,850,967	1,854,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	575,371	557,687
売上原価	313,724	288,809
売上総利益	261,647	268,878
販売費及び一般管理費	264,795	234,975
営業利益又は営業損失(△)	△3,147	33,902
営業外収益		
受取利息	373	3,343
為替差益	—	187
貸倒引当金戻入額	602	—
雑収入	281	142
営業外収益合計	1,257	3,673
営業外費用		
支払利息	185	140
為替差損	4,282	—
貸倒引当金繰入額	—	10,038
支払手数料	—	2,400
雑損失	270	7
営業外費用合計	4,737	12,585
経常利益又は経常損失(△)	△6,627	24,989
特別利益		
新株予約権戻入益	43	86
特別利益合計	43	86
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,693
特別損失合計	—	2,693
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,584	22,382
法人税、住民税及び事業税	1,582	5,122
法人税等調整額	—	△628
法人税等合計	1,582	4,494
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,166	17,888
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△62	△400
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,104	18,288

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,166	17,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	156
為替換算調整勘定	△3,628	△702
その他の包括利益合計	△3,628	△545
四半期包括利益	△11,795	17,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,732	17,743
非支配株主に係る四半期包括利益	△62	△400

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	ナレッジインテ リジェンス事業	エンタープライ ズソリューション事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	94,942	298,116	182,312	575,371	—	575,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	750	—	750	△750	—
計	94,942	298,866	182,312	576,121	△750	575,371
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△22,009	149,655	30,153	157,798	△160,946	△3,147

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに
帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	ナレッジインテ リジェンス 事業	エンタープライ ズソリューション 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,536	340,643	151,507	557,687	—	557,687
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,823	750	—	4,573	△4,573	—
計	69,359	341,393	151,507	562,260	△4,573	557,687
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△57,062	190,344	35,338	168,620	△134,717	33,902

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに
帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当第1四半期連結累計期間より、企業戦略を明確化することを目的として、従来「ソーシャルメディア事業」と表示していたセグメントの名称を「ナレッジインテリジェンス事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成29年10月18日開催の取締役会において、下記のとおり当社全額出資の子会社をマレーシアに設立することを決議しました。

(1) 子会社設立の目的

当社の事業推進におけるコア技術と位置づけているABCテクノロジー、「AI(人工知能)」、「Blockchain(ブロックチェーン)」、「Chat(チャット)」の中で、とくにブロックチェーン技術を軸に、仮想通貨に関わる事業、および関連するコンサルテーションの実施を事業目的とします。

(2) 設立する子会社の概要

- ①名称 OKfinc LTD.
- ②所在地 Lot 7616, Jalan Jumidar Buyong, 87000 Federal Territory of Labuan, Malaysia
- ③代表者 兼元謙任
- ④事業内容 仮想通貨関連事業
- ⑤資本金 360万リンギット(約97百万円)
- ⑥設立年月 平成29年11月(予定)※
- ⑦出資比率 当社100%

※平成29年10月24日に公表したPR情報においては、当初設立年月を平成29年10月としておりましたが、設立手続きの遅れにより平成29年11月予定と変更しております。